



名前：
中村 ロダさん
出身：
フィリピン
職業：
通訳管理

がいこくじん みな
**外国人の皆さんに
インタビューしました**



第2回は、当協会でも多文化理解講座などで
お世話になっている**中村ロダさん**にインタビューを
させていただきました。

ロダさんは、通訳、翻訳だけでなく、料理教室や文化紹
介など何でもできちゃう、とても頼りになる人です。
当協会にはなくてはならない大事な存在です！

出身はどこですか？

フィリピンです。

日本に来たのはいつですか？ どんな仕事をしていましたか？

1999 年に来日しました。当時の私はまだ 20 代で、茨城で祖母と二人暮らしでした。
最初は食品工場で働き、その後、給食工場、機械部品オペレーター、
羽田空港インフォメーションセンターとステップアップしていきました。
その後、会津若松市の半導体の会社で通訳管理の仕事に就き 2019 年 12 月に喜多方の
会社へ異動となり今に至ります。

日本語はどのように勉強しましたか？

茨城で暮らしているときに、「水戸黄門」「暴れん坊将軍」、などの時代劇や、
「おしん」などを見て日本語を勉強しました。



日本に来てから困ったことはありますか？

来日してすぐの頃は日本語が難しくて怖くて外へ出られませんでした。
まだ、外国人も少ない頃で日本語を覚えるのが大変でした。それでも、一生懸命、
独学で日本語を勉強しました。来日して 3 年ほど経った頃、外国人が増え始めました。

仕事をしていた良かったことはありますか？

自分が日本語ができるようになったので、フィリピンから来た実習生たちのことを助け
てあげられることです。

喜多方に住んでよかったことはありますか？

人が助け合っていること。やはり（関わる）人は大事ななと思いました。
雪の多さにはびっくりしましたが、ラーメンがすごく美味しい！まさか 100 店舗以上あ
るとは驚きでした。

（喜多方が）こうなったらよいなと思うことはありますか？

外国人向けのイベント、交流、サポートをする人が増えるとうよいと思います。
日本と外国、お互いの文化を知る事ができる交流をしたいです。

日本の人に伝えたいことはありますか？

日本にいる外国人は真面目に働いています。怖がらないで、お互いの文化を知り合えば
仲良くなれます。そうすれば、もっと良い喜多方になると思います。



thank
you